

雄武地域マリンビジョン かわら版 ー検討

このかわら版は、雄武町における水産業を核としたまちづくり（地域マリンビジョン(以下 MVI)※）について、活動内容を皆様にお知らせするため発行しております。

漁港清掃・植樹などの各種活動を行いました！！

◆雄武漁港の清掃活動

平成22年6月19日（土）、雄武漁港船頭会が主体となり、雄武漁港の清掃活動を行いました。

当日は30名近くの方が参加し、自分たちが普段使っている漁港をきれいにする為、漁港内の清掃開始！！



ゴミ袋は全て満杯になり、粗大ゴミを合わせると、2tトラック2台分近くのゴミを回収しました！！

このような清掃活動は、漁港内をきれいにする事は勿論、参加者一人一人の環境意識の向上にも繋がります！これからも「きれいな雄武漁港」の為に、継続していきましょう！！

◆雄武小学校のミニオホーツク水族館に行ってきました！！

新聞やテレビなどで取り上げられていた事から遅ればせながら自分もミニ水族館に行ってまいりました。PTA会長の四辻さん(マリンビジョン協議会委員、雄武船頭会長)が子供たちにフーセンウオを見せに持ってきたことで始まった水族館。現在は10種類の魚が元気に泳いでいます。「地域性のある教材としてだけでは無く、町民に子供たちを知ってもらえるきっかけにもなってくれば」と言う教頭先生。この水族館が雄武の海と小学生、そして小学生と地域をつなげるきっかけであって欲しいものです！！



※地域マリンビジョンとは？

北海道開発局においては、明日の活力ある北海道水産業の将来像を「北海道マリンビジョン21」として示しています。雄武町では、「北海道マリンビジョン21」に示された主旨に賛同し、H17年度より「雄武地域マリンビジョン」の検討を進めており、平成19年12月にモデル地域に指定されたところであります。

◆生活クラブ生協による雄武の視察及び交流会

平成22年5月31日(火)・6月1日(水)、雄武漁協商品を取り扱っている生活クラブ生協から関東地区の役職員の方々が、雄武に訪れました。

31日は、農協・漁協との学習会が行われました。漁協からは毛ガニやホタテの採取方法、漁協主催による植樹活動等について、農協からは雄武で生産される牛肉の加工、流通経路などを学び、活発な意見交換が行われました。



翌1日は加工場の見学や植樹活動などイベントが目白押しでした。早朝のホタテ漁見学を行った後、10時からは加工場で勉強会が行われました。加工場の概要に関する説明が行われた後、実際に加工が行われている現場を見学し、ホタテの殻むきの体験が行われました。

又、午後からは雄武漁協主催の「第15回魚を殖やす植樹活動」に参加しました。当日は小雨模様の天気でしたが、豊丘小学校や漁業関係者ら多くの方々が集まり、シラカバ400本とアカエゾマツ800本の苗木が植えられました。

今回の視察では勉強会や加工場視察だけでなく、植樹に参加してもらった事で海と森のつながりから雄武の海産物についてより深く知ってもらえる事が出てきたのではないのでしょうか。

※お詫び

25号から紹介している雄武産食材を使用したレシピは誠に勝手ながら次号で紹介させていただきます。

意見・感想など、ご遠慮なく下記へお寄せ下さい。



今後も雄武の海を通して多くの人々のつながりができて欲しいです!!

【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【お問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel 0158-84-2121 Fax 0158-84-2844

mail sangyo@town.oumu.hokkaido.jp